

一般社団法人日本繊維機械学会

第75回定時総会

【期日】2022年6月3日（金）

【会場】大阪科学技術センターとオンライン

【議案】

第1号議案 2021年度事業報告の件

第2号議案 2021年度決算報告の件

第3号議案 2022年度ならびに2023年度役員の件

報告事項（1）2022年度事業計画について

報告事項（2）2022年度予算について

報告事項（3）繊維系三学会の合併（一法人化）について

**第1号議案 2021年度事業報告の件**  
(2021年4月1日～2022年3月31日まで)

**I. 事業の状況**

**1. 総会（定款第11条）**

第74回定時総会

【期日】2021年5月28日（金）

【会場】オンライン開催（Microsoft Teams を使用）

【参加者数】396名（委任状提出者を含む）

**2. 研究発表会、講演会、セミナー、シンポジウム、テキスタイルカレッジ等（定款第4条）**

**2. 1 研究発表会**

期日	名称	会場
5/27,28	第74回年次大会	オンライン

**2. 2 講演会、見学会**

期日	名称	会場
5/20	講演会「セルロースナノファイバーの複合化技術」	オンライン
7/9	講演会「繊維の進化」～進化するファイバー・プロセス・アパレル～	オンライン
10/29	講演会「ポストコロナ時代を見据えた繊維関連技術」	オンライン
12/15	講演会「電気・エネルギー問題への貢献 ～繊維技術による可能性～」	オンライン
1/25	講演会「繊維×AI・IoT・DX～」(第3回) デジタル活用の最前線～	オンライン

**2. 3 セミナー**

期日	名称	会場
11/16,17	第28回秋季セミナー「せんい×デジタル ～デジタルシフトと繊維産業の未来」	オンライン

**2. 4 シンポジウム**

期日	名称	会場
12/8,9	The 48th Textile Research Symposium(国際シンポジウム)	オンライン

## 2. 5 テキスタイルカレッジ

期日	名称	会場
6/23,24	2日で学ぶせんいと布づくり	オンライン
7/7	化学繊維の糸づくり	オンライン
7/13	天然繊維の糸づくり	オンライン
9/8	不織布	オンライン
9/29	編物	オンライン
10/1	組物	オンライン
10/8	織物	オンライン
10/22	染色加工（基礎）	オンライン
11/5	繊維製品の感覚性能 - アパレル製品を中心として -	オンライン
11/10	布特性の測定と感性の客観評価	オンライン
11/19,26	染色加工（実務と応用）	オンライン
1/27	合成繊維（実用）	オンライン
2/1	資材用繊維	オンライン
3/3	繊維製品の品質管理と品質保証	オンライン

### 3. 支部（共催行事を含む）

#### 3. 1 関東支部

期日	名称	会場
12/16	令和3年度通常支部年会	オンライン
12/16	関東支部シンポジウム	オンライン

#### 3. 2 北陸支部

期日	名称	会場
8/2	令和3年度定時年会	オンライン
12/2	北陸支部研究発表会	オンライン
12/21	学術普及講演会	オンライン
2/22	繊維高機能化研究会	オンライン
3/10	令和3年度繊維マテリアル研究センター研究発表会	オンライン

#### 3. 3 信越支部

期日	名称	会場
11/5	テキスタイルカレッジ「繊維製品の感覚性能 - アパレル製品を中心として -」	オンライン

#### 3. 4 東海支部

期日	名称	会場
7/16	2021年度支部年会	オンライン
9/8	繊維技術セミナー	オンライン
12/11	第34回東海支部若手繊維研究会	オンライン
12/14	繊維デザインセミナー	岐阜毛織会館
3/10	繊維講演会	オンライン
3/25	研究成果普及講習会	尾張繊維技術センター

#### 3. 5 中国支部

期日	名称	会場
8/31	2021年度中国支部年会	メール会議
12/17	令和3年度中国支部研究及び事例発表会	岡山県立図書館

#### 4. 研究会（共催、協賛、後援行事を含む）

##### 4. 1 テクテキスタイル研究会

期日	名称	会場
11/8	第 59 回研究例会	オンライン
12/21	第 60 回研究例会	オンライン
1/19	第 61 回研究例会	オンラインと福井県工業技術センター

##### 4. 2 不織布研究会

期日	名称	会場
5/20	第 81 回研究例会	オンライン
9/15	第 82 回研究例会	オンライン
11/8	第 83 回研究例会	オンライン
11/25	第 84 回研究例会	オンラインと大阪科学技術センター
1/24	第 85 回研究例会	オンライン

##### 4. 3 繊維リサイクル技術研究会

期日	名称	会場
4/27	第 138 回情報交換会	オンライン
4/29-6/29	さすてな京都 2021 年度企画展示	南部クリーンセンター
6/18	設立 20 周年記念総会、第 139 回情報交換会	オンライン
9/7	第 140 回情報交換会	オンライン
11/10	第 141 回情報交換会	オンライン
1/26	第 142 回情報交換会	オンライン

##### 4. 4 コンポジテックス研究会

期日	名称	会場
12/13-14	2021 年度第 1 回研究会	オンライン
1/18	2021 年度第 2 回研究会	オンライン

##### 4. 5 企業心理と消費者心理研究会

期日	名称	会場
4/3	第 1 回研究会例会	オンライン
7/21	第 2 回研究会例会	オンライン
9/29	第 19 回公開講座	オンライン
11/24	第 3 回研究例会	オンライン
1/22	第 4 回研究例会	オンライン

#### 4. 6 ナノファイバー研究会

期日	名称	会場
5/20	第 35 回研究例会	オンライン
9/15	第 36 回研究例会	オンライン
11/25	第 37 回研究例会	オンラインと大阪科学技術センター
1/24	第 38 回研究例会	オンライン

#### 4. 7 衣 coromo@未来研究会

期日	名称	会場
12 月	衣 coromo@未来研究会 第一期報告書	HP 公開ならびに冊子配布

#### 4. 8 スマートテキスタイル研究会

3 学会（日本繊維機械学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会）で共同運営

期日	名称	会場
6 月	スマートテキスタイル研究会総会	書面決議
7/12	第 25 回研究例会	オンライン
7/20	第 26 回研究例会	オンライン
1/24	第 27 回研究例会	オンライン
3/28	第 28 回研究例会	オンライン

## 5. 協賛、後援行事

名称	関連団体
京都工芸繊維大学繊維科学センター「未来環境を考える講演会」-繊維テクノロジーから見た超循環モノづくり-	京都工芸繊維大学繊維科学センター
講習会、全国大会	静電気学会
第 64 回自動制御連合講演会	システム制御情報学会他
第 29 回成形加工テキストセミナー、年次大会、秋季大会、講演会	プラスチック成形加工学会
第 60 回機能研究発表・講演会	機能紙研究会
講習会、第 16 回若手シンポジウム、2021 年度 JCOM 若手ウェビナー	日本材料学会
日本感性工学会大会	日本感性工学会
2021 International Conference on Flexible and printed Electronics	ICFPE2021 組織委員会
第 69 回レオロジー討論会	日本レオロジー学会、日本バイオレオロジー学会
第 42 回日本熱物性シンポジウム	日本熱物性学会

## 6. 会誌および図書の刊行（定款第 4 条）継続事業 1

### 6. 1 繊維機械学会誌「月刊せんい」

発行年月日	巻	号
2021 年 4 月 25 日	74	4
2021 年 5 月 25 日	74	5
2021 年 6 月 25 日	74	6
2021 年 7 月 25 日	74	7
2021 年 8 月 25 日	74	8
2021 年 9 月 25 日	74	9
2021 年 10 月 25 日	74	10
2021 年 11 月 25 日	74	11
2021 年 12 月 25 日	74	12
2022 年 1 月 25 日	75	1
2022 年 2 月 25 日	75	2
2022 年 3 月 25 日	75	3

### 6. 2 論文誌「Journal of Textile Engineering」（隔月刊）

発行年月日	Vol	No
2021 年 4 月 15 日	67	2
2021 年 6 月 15 日	67	3
2021 年 8 月 15 日	67	4
2021 年 10 月 15 日	67	5
2021 年 12 月 15 日	67	6
2022 年 2 月 15 日	68	1

## 7. 繊維ならびに繊維機械の発展に功績のあったものの表彰（定款第4条）その他事業1

### 7. 1 論文賞

「衣服シミュレーションを用いたスポーツウェアの伸長変形解析」

(株) アシックス 小澤明裕、草野 拳、角 奈那子、田川武弘

「Preparation of Nanocarbon-Supported Nanofiber Fabric for Purification of Contaminated Water」

名古屋大学 向井康人、劉 松、天野詠之

### 7. 2 技術賞

「大量発汗時を想定した湿潤時の通気性に優れたスポーツウェア」

ミズノ (株) 田島和弥、白石篤史

「高速精紡機における紡績時の張力安定化システム」

村田機械 (株) 岡 正毅、須佐見浩之、秋元理宏、濱田健司、山田修司

「皮脂汚れ由来の不快臭に対する防臭加工技術」

東レ (株) 浅井直希、主森敬一、竹下将太、秋月健司

### 7. 3 学術研究奨励賞

「耐熱・難燃性を備え軽量で高強度な次世代高性能断熱性繊維、パラ系アラミドエアロゲル繊維の創出」

福井大学 学術研究院工学系部門 繊維先端工学講座 准教授 廣垣和正

### 7. 4 学術奨励賞

「Preparation and morphology control of polymeric nanofibers via dual-bath immersion electrospinning」

福井大学 王 栩杉

「防炎性能試験機内部の接炎バーナー及び空気流の CFD 解析」

信州大学 花里一弥

「感染防止衣と救急隊活動服の重ね着による衣服内気候への影響評価」

信州大学 小林陽太

「スマートテキスタイルを活用した女性労働者の体調評価指標の検討」

大阪大学 金子美樹



## 8. 会議

8. 1 理事会（7回開催）
8. 2 企画委員会（3回開催）
8. 3 学会誌編集委員会（2回開催：メールにて随時開催）
8. 4 ジャーナル編集委員会（5回開催）
8. 5 年次大会実行委員会（2回開催）
8. 6 TRS48 実行委員会（2回開催）
8. 7 繊維系三学会統合検討会議：（10回開催）
8. 8 各種会議（執行部会議、論文賞選考委員会、技術賞選考委員会、学術研究奨励賞選考委員会、学術奨励賞審査委員会、SDGs アワード審査委員会、フェロー選考委員会、支部長会議、研究会委員長会議、ハイブリッド化検討 WG、催事・研究（委員）会検討 WG、学会誌検討 WG、事務局検討 WG、年次大会検討 WG、論文誌検討 WG、国際化 WG、情報化委員会、染色加工研究委員会、繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）など）を開催。

## 9. 会員の異動状況書

	本年度末 2022年3月31日	前年度末 2021年3月31日	増減数
正会員	637名	639名	-2
学生会員	47名	35名	+12
維持会員	15口	15口	±0
賛助会員	74口	74口	±0
名誉会員	14名	16名	-2

## II. 職務の概要

### 1. 役員等に関する事項

会 長	井上 真理	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授
副会長	三木 勝策	TMT マシナリー株式会社 取締役会長
副会長	高納 伸宏	津田駒工業株式会社 代表取締役会長
副会長☆	西脇 剛史	株式会社アシックス 常務執行役員
副会長☆	田上 秀一	福井大学 繊維・マテリアル研究センター 教授
副会長☆	倉敷 哲生	大阪大学 大学院工学研究科 教授
理 事	秋月 健司	東レ株式会社 テキスタイル・機能資材開発センター 所長
理 事	奥林 里子	京都工芸繊維大学 繊維学系 教授
理 事	小野 努	岡山大学 大学院自然科学研究科 教授
理 事☆	勝圓 進	元倉敷紡績株式会社 繊維事業部
理 事	金井 博幸	信州大学 学術研究院 繊維学系 准教授
理 事	亀井 孝典	株式会社島精機製作所 トータルデザインセンター 部長
理 事	河原 喜久	帝人フロンティア株式会社 技術・生産本部 生産・品質管理部長
理 事	近藤 幹也	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 理事 事業化支援本部長
理 事	才脇 直樹	奈良女子大学 生活環境学部 教授
理 事☆	迫部 唯行	ユニチカ株式会社 理事 産業繊維事業部長
理 事	杉山 浩正	株式会社豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 部長
理 事	中西 康雅	三重大学 教育学部 准教授
理 事	豊田 健吾	東洋紡 STC 株式会社 技術開発部 部長
理 事	堀場 洋輔	信州大学 繊維学部 先進繊維・感性工学科 准教授
理 事	正井 哲司	村田機械株式会社 取締役 繊維機械事業部長
理 事	松尾 憲久	マツオインターナショナル株式会社 代表取締役社長
理 事	保田 和則	愛媛大学大学院 理工学研究科 教授
理 事	山本 貴則	地方独立行政法人大阪産業技術研究所 製品信頼性研究部長
監 事	金井 宏彰	金井重要工業株式会社 代表取締役社長
監 事	喜成 年泰	金沢大学 設計製造技術研究所 教授
監 事	鋤柄佐千子	京都工芸繊維大学 繊維学系 教授

☆…業務執行理事

(2022年3月31日現在)

### 2. 職員に関する事項

氏 名	担当職務
高平 恭護	総括、事務
安達佳代子	会費、会計
津田 雅代	事務

### 3. 理事会、総会に関する事項

#### 3. 1 理事会

開催月日 開催方法	議事事項	会議の結果
第 231 回 5/8 オンライン	1. 新入会員について 2. 学会賞について 3. フェローについて 4. 第 7 4 回定時総会について 5. 繊維系三学会について	承認された
第 232 回 7/31 オンライン	1. 新入会員について 2. 学会賞準備委員会について 3. 役員について 4. 繊維系三学会について	承認された
第 233 回 10/2 オンライン	1. 新入会員について 2. フェロー選考委員会の委員長ならびに副委員長について 3. 学生会発足について 4. 論文誌について 5. 繊維系三学会について	承認された
第 234 回 12/4 オンライン	1. 新入会員について 2. フェロー選考委員について 3. 論文誌編集作業の業務委託について 4. TRS 4 9 について 5. 繊維系三学会について	承認された
第 235 回 1/29 オンライン	1. 新入会員について 2. 2 0 2 2 年度・2 0 2 3 年度の役員について 3. 繊維系三学会について	承認された
第 236 回 2/10~2/18 メール審議	1. 一法人化後の名称について	承認された
第 237 回 3/26 オンライン	1. 新入会員について 2. 支部（活動報告・決算報告、活動計画・予算）について 3. 研究会（事業報告・決算報告、事業計画・予算）について 4. 2 0 2 2 年度・2 0 2 3 年度の役員について 5. 第 7 5 回定時総会について 6. 繊維系三学会について	承認された

### 3. 2 総会

開催月日 開催方法	議事事項	会議の結果
第74回 定時総会 5/28 オンライン	第1号議案 2020年度事業報告の件 第2号議案 2020年度決算報告の件 第3号議案 理事交代の件 報告事項(1) 2021年度事業計画、報告事項 報告事項(2) 2021年度予算、報告事項 報告事項(3) 3学会(繊維学会、日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会)の連携・統合を視野に入れた議論開始について	承認された

### 4. 契約に関する事項

契約年月日	契約相手方	契約の概要
2021年4/1 ～ 2022年3/31	前田印刷(株)	繊維機械学会誌「月刊せんい」の刊行・発送に関する契約(1年間)
2021年1/1 ～ 2021年12/31	(株)啓文社	論文誌「Journal of Textile Engineering」の刊行に関する契約(1年間)
2022年1/1 ～ 2022年12/31	創文印刷工業(株)	論文誌「Journal of Textile Engineering」の刊行に関する契約(1年間)
2021年4/1 ～ 2022年3/31	辻・本郷税理士法人	会計に関する顧問契約(1年間)
2021年4/1 ～ 2022年3/31	ヤマト運輸(株)	繊維機械学会誌ならび論文誌の発送ならびに封入に関する契約(1年間)

#### 附属明細書

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

第2号議案 2021年度決算

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	36,606,528	37,763,998	△ 1,157,470
未収会費	80,000	64,000	16,000
未収金	72,435	113,898	△ 41,463
前払金	29,800	56,832	△ 27,032
立替金	1,230	1,144	86
棚卸資産	1,389,151	1,429,468	△ 40,317
流動資産合計	38,179,144	39,429,340	△ 1,250,196
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
指定金銭信託	100,000	100,000	0
基本財産合計	100,000	100,000	0
(2) 特定資産			
海外旅費積立金	300,000	300,000	0
70周年事業積立金	2,282,694	2,797,874	△ 515,180
フェロー会事業積立金	440,200	440,200	0
ホームページ作成費積立金	275,000	550,000	△ 275,000
オンライン環境整備費積立金	1,071,015	2,500,000	△ 1,428,985
特定資産合計	4,368,909	6,588,074	△ 2,219,165
(3) その他固定資産			
什器備品	386,067	199,415	186,652
退職給付引当預金	4,250,788	3,815,463	435,325
敷金	1,497,000	1,497,000	0
保証金	160,000	160,000	0
その他の固定資産合計	6,293,855	5,671,878	621,977
固定資産合計	10,762,764	12,359,952	△ 1,597,188
資産合計	48,941,908	51,789,292	△ 2,847,384
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	265,951	186,920	79,031
預り金	71,275	76,368	△ 5,093
前受会費	1,492,670	6,314,290	△ 4,821,620
未払法人税等	70,000	89,600	△ 19,600
未払消費税等	582,500	438,300	144,200
その他前受金	427,513	3,090,321	△ 2,662,808
流動負債合計	2,909,909	10,195,799	△ 7,285,890
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,250,788	3,815,463	435,325
固定負債合計	4,250,788	3,815,463	435,325
負債合計	7,160,697	14,011,262	△ 6,850,565
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	2,722,894	3,238,074	△ 515,180
指定正味財産合計	2,722,894	3,238,074	△ 515,180
(うち特定資産への充当額)	(2,722,894)	(3,238,074)	△ 515,180
2. 一般正味財産			
一般正味財産	39,058,317	34,539,956	4,518,361
(うち基本財産への充当額)	(100,000)	(100,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(1,646,015)	(3,350,000)	△ 1,703,985
正味財産合計	41,781,211	37,778,030	4,003,181
負債及び正味財産合計	48,941,908	51,789,292	△ 2,847,384

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2	6	△ 4
基本財産受取利息	2	6	△ 4
受取会費	15,715,076	15,631,749	83,327
正会員受取会費	4,534,456	4,669,453	△ 134,997
学生会員受取会費	94,000	66,000	28,000
賛助会員受取会費	6,886,620	6,696,296	190,324
維持会員受取会費	4,200,000	4,200,000	0
事業収益	28,537,458	27,561,202	976,256
学会誌収益	8,347,024	8,897,613	△ 550,589
論文誌収益	1,172,361	861,177	311,184
各種行事収益	14,006,077	14,050,634	△ 44,557
年次大会収益	4,845,940	3,373,140	1,472,800
図書売上収益	166,056	378,638	△ 212,582
受取寄付金	515,180	515,180	0
受取寄付金振替額	515,180	515,180	0
受取国庫補助金	0	3,090,646	△ 3,090,646
受取国庫補助金	0	3,090,646	△ 3,090,646
雑収益	10,346	103	10,243
受取利息	126	103	23
雑収益	10,220	0	10,220
経常収益計	44,778,062	46,798,886	△ 2,020,824
(2) 経常費用			
事業費	33,537,555	28,022,801	5,514,754
会誌刊行費	4,629,097	3,894,261	734,836
論文誌刊行費	1,272,436	1,046,623	225,813
各種行事費	6,004,823	3,557,914	2,446,909
年次大会費	907,942	702,212	205,730
学会賞費	393,305	233,643	159,662
給料手当	12,276,043	11,472,683	803,360
退職給付費用	350,438	328,631	21,807
福利厚生費	1,940,414	1,871,915	68,499
通信運搬費	419,563	448,651	△ 29,088
消耗什器備品費	535,411	371,875	163,536
消耗品費	484,609	197,464	287,145
印刷製本費	89,395	68,616	20,779
賃借料	1,852,986	1,840,681	12,305
租税公課	1,111,002	1,061,401	49,601
支払助成金	500,000	500,000	0
フェロー会事業費	0	3,460	△ 3,460
支払寄付金	10,000	0	10,000
委託費	275,000	0	275,000
支払手数料	264,372	272,973	△ 8,601
減価償却費	68,486	5,420	63,066
図書売却損	40,317	118,827	△ 78,510
発送費	2,854	3,304	△ 450
雑費	109,062	22,247	86,815
管理費	6,644,146	5,986,258	657,888
給料手当	2,973,699	2,779,097	194,602
退職給付費用	84,887	79,607	5,280
福利厚生費	470,038	453,444	16,594
会議費	239,422	119,755	119,667
旅費交通費	2,800	4,940	△ 2,140
通信運搬費	251,738	269,192	△ 17,454
消耗什器備品費	321,247	223,125	98,122
消耗品費	290,765	118,478	172,287
印刷製本費	53,638	41,169	12,469
賃借料	1,111,791	1,104,409	7,382
租税公課	12	2,562	△ 2,550
支払手数料	737,580	773,880	△ 36,300
減価償却費	41,092	3,252	37,840
雑費	65,437	13,348	52,089
経常費用計	40,181,701	34,009,059	6,172,642
評価損益調整前経常増減額	4,596,361	12,789,827	△ 8,193,466
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,596,361	12,789,827	△ 8,193,466
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
未収金回収不能	8,000	47,500	△ 39,500
経常外費用計	8,000	47,500	△ 39,500
当期経常外増減額	△ 8,000	△ 47,500	39,500
当期一般正味財産増減額	4,588,361	12,742,327	△ 8,153,966
法人税、住民税及び事業税	70,000	89,600	△ 19,600
一般正味財産増減額	4,518,361	12,652,727	△ 8,134,366
一般正味財産期首残高	34,539,956	21,887,229	12,652,727
一般正味財産期末残高	39,058,317	34,539,956	4,518,361
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	515,180	515,180	0
当期指定正味財産増減額	△ 515,180	△ 515,180	0
指定正味財産期首残高	3,238,074	3,753,254	△ 515,180
指定正味財産期末残高	2,722,894	3,238,074	△ 515,180
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	41,781,211	37,778,030	4,003,181

正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	継続事業1	その他事業1	その他事業2	その他事業3	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	2	2
基本財産受取利息	0	0	0	0	2	2
受取会費	0	0	0	0	15,715,076	15,715,076
正会員受取会費	0	0	0	0	4,534,456	4,534,456
学生会員受取会費	0	0	0	0	94,000	94,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	6,886,620	6,886,620
維持会員受取会費	0	0	0	0	4,200,000	4,200,000
事業収益	9,519,385	17,737,827	166,056	1,114,190	0	28,537,458
学会誌収益	8,347,024	0	0	0	0	8,347,024
論文誌収益	1,172,361	0	0	0	0	1,172,361
各種行事収益	0	12,891,887	0	1,114,190	0	14,006,077
年次大会収益	0	4,845,940	0	0	0	4,845,940
図書売上収益	0	0	166,056	0	0	166,056
受取寄付金	0	0	0	0	515,180	515,180
受取寄付金振替額	0	0	0	0	515,180	515,180
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	10,000	0	19	327	10,346
受取利息	0	0	0	19	107	126
雑収益	0	10,000	0	0	220	10,220
経常収益計	9,519,385	17,747,827	166,056	1,114,209	16,230,585	44,778,062
(2) 経常費用						
事業費	12,996,756	19,774,575	166,525	599,699	0	33,537,555
会誌刊行費	4,629,097	0	0	0	0	4,629,097
論文誌刊行費	1,272,436	0	0	0	0	1,272,436
各種行事費	0	5,627,964	0	376,859	0	6,004,823
年次大会費	0	907,942	0	0	0	907,942
学会賞費	0	393,305	0	0	0	393,305
給料手当	4,574,923	7,624,871	76,249	0	0	12,276,043
退職給付費用	130,598	217,663	2,177	0	0	350,438
福利厚生費	723,136	1,205,226	12,052	0	0	1,940,414
通信運搬費	147,686	268,520	3,357	0	0	419,563
消耗什器備品費	188,465	342,663	4,283	0	0	535,411
消耗品費	170,582	310,150	3,877	0	0	484,609
印刷製本費	31,467	57,213	715	0	0	89,395
賃借料	652,251	1,185,911	14,824	0	0	1,852,986
租税公課	372,084	734,516	4,400	2	0	1,111,002
支払助成金	0	500,000	0	0	0	500,000
フェロー会事業費	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	10,000	0	0	0	10,000
委託費	0	275,000	0	0	0	275,000
支払手数料	41,534	0	0	222,838	0	264,372
減価償却費	24,107	43,831	548	0	0	68,486
図書売却損	0	0	40,317	0	0	40,317
発送費	0	0	2,854	0	0	2,854
雑費	38,390	69,800	872	0	0	109,062
管理費	0	0	0	0	6,644,146	6,644,146
給料手当	0	0	0	0	2,973,699	2,973,699
退職給付費用	0	0	0	0	84,887	84,887
福利厚生費	0	0	0	0	470,038	470,038
会議費	0	0	0	0	239,422	239,422
旅費交通費	0	0	0	0	2,800	2,800
通信運搬費	0	0	0	0	251,738	251,738
消耗什器備品費	0	0	0	0	321,247	321,247
消耗品費	0	0	0	0	290,765	290,765
印刷製本費	0	0	0	0	53,638	53,638
賃借料	0	0	0	0	1,111,791	1,111,791
租税公課	0	0	0	0	12	12
支払手数料	0	0	0	0	737,580	737,580
減価償却費	0	0	0	0	41,092	41,092
雑費	0	0	0	0	65,437	65,437
経常費用計	12,996,756	19,774,575	166,525	599,699	6,644,146	40,181,701
評価損益調整前経常増減額	△ 3,477,371	△ 2,026,748	△ 469	514,510	9,586,439	4,596,361
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,477,371	△ 2,026,748	△ 469	514,510	9,586,439	4,596,361
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
未収金回収不能	0	0	0	0	8,000	8,000
経常外費用計	0	0	0	0	8,000	8,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 8,000	△ 8,000
他会計振替額	0	515,180	82,229	0	△ 597,409	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,477,371	△ 1,511,568	81,760	514,510	8,981,030	4,588,361
法人税、住民税及び事業税	0	0	70,000	0	0	70,000
一般正味財産増減額	△ 3,477,371	△ 1,511,568	11,760	514,510	8,981,030	4,518,361
一般正味財産期首残高	△ 30,860,099	△ 28,795,052	1,514,862	1,241,088	91,439,157	34,539,956
一般正味財産期末残高	△ 34,337,470	△ 30,306,620	1,526,622	1,755,598	100,420,187	39,058,317
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	515,180	515,180
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	△ 515,180	△ 515,180
指定正味財産期首残高	0	440,200	0	0	2,797,874	3,238,074
指定正味財産期末残高	0	440,200	0	0	2,282,694	2,722,894
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残高	△ 34,337,470	△ 29,866,420	1,526,622	1,755,598	102,702,881	41,781,211

注釈

継続事業 1	学会誌、論文誌の出版事業の単年度公益事業の収支
その他事業 1	年次大会、研究会、講演会などの行事の単年度公益事業の収支
その他事業 2	図書の販売による単年度収益事業の収支
その他事業 3	日本繊維機械学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会の3学会で運営するスマートテキスタイル研究会の単年度公益事業の収支
法人会計	学会を維持するための経費の単年度収支



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価方法  
取得価額で評価することを原則としているが、特に長期間在庫していて販売の見込まれないものについては 備忘価額によって評価している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
什器備品については、定率法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
職員の退職給付の支払いにあてるため、規程に基づく期末要支給額の全額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
指定金銭信託	100,000	0	0	100,000
小 計	100,000	0	0	100,000
特定資産				
海外旅費積立金	300,000	0	0	300,000
70周年事業積立金	2,797,874	0	515,180	2,282,694
フェロー会事業積立金	440,200	0	0	440,200
ホームページ作成費積立金	550,000	0	275,000	275,000
オンライン環境整備費積立金	2,500,000	0	1,428,985	1,071,015
小 計	6,588,074	0	2,219,165	4,368,909
合 計	6,688,074	0	2,219,165	4,468,909

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
指定金銭信託	100,000	(0)	(100,000)	—
小 計	100,000	(0)	(100,000)	0
特定資産				
海外旅費積立金	300,000	(0)	(300,000)	—
70周年事業積立金	2,282,694	(2,282,694)	(0)	—
フェロー会事業積立金	440,200	(440,200)		
ホームページ作成費積立金	275,000	(0)	(275,000)	
オンライン環境整備費積立金	1,071,015	(0)	(1,071,015)	—
小 計	4,368,909	(2,722,894)	(1,646,015)	0
合 計	4,468,909	(2,722,894)	(1,746,015)	0

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,127,110	741,043	386,067
合 計	1,127,110	741,043	386,067

### 5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	金額
経常収益への振替額	
受取寄付金振替額	515,180
合 計	515,180

## 附属明細書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載のため省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,815,463	435,325	0	0	4,250,788

財産目録

2022年3月31日現在

(単位：円)


貸借対照表科目		場所・物量等	金額
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	現金	手元保管 (本部)	779,490
	普通預金	りそな銀行 大阪公務部	9,432,708
当座預金		三菱UFJ銀行 大阪西支店	297,333
		関西みらい銀行 大阪西支店	1,762,371
振替口座		三井住友銀行 大阪本店営業部	6,305,179
		りそな銀行 大阪公務部	998,076
通常貯金		三菱UFJ銀行 大阪西支店	5,520,300
		ゆうちょ銀行	10,294,549
未収会費		ゆうちょ銀行 (関東支部)	48,840
		ゆうちょ銀行 (信越支部)	319,770
未収金		ゆうちょ銀行 (東海支部)	389,529
		ゆうちょ銀行 (北陸支部)	236,930
前払金		ゆうちょ銀行 (中国支部)	221,453
		2021年度会費	80,000
立替金		未収金	72,435
		2022年度年次大会他	29,800
棚卸資産		発送料	1,230
	棚卸図書	繊維工学シリーズ他	1,389,151
流動資産合計			38,179,144
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
	指定金銭信託	りそな銀行 大阪公務部	100,000
基本財産合計			100,000
<b>(2) 特定財産</b>			
	海外旅費積立金	現金 手元保管(本部)	300,000
70周年事業積立金		当座預金 三井住友銀行 大阪本店営業部	439,441
		当座預金 りそな銀行 大阪公務部	208,940
		当座預金 三菱UFJ銀行 大阪西支店	526,148
		振替口座 ゆうちょ銀行	894,841
フェロー会事業積立金		現金 手元保管(本部)	213,324
		当座預金 三井住友銀行 大阪本店営業部	20,000
		当座預金 りそな銀行 大阪公務部	30,000
		当座預金 三菱UFJ銀行 大阪西支店	110,000
		振替口座 ゆうちょ銀行	220,200
ホームページ作成費積立金		現金 手元保管(本部)	60,000
		当座預金 三井住友銀行 大阪本店営業部	275,000
オンライン環境整備費積立金		当座預金 三井住友銀行 大阪本店営業部	1,071,015
	特定財産合計		
<b>(3) その他固定資産</b>			
	什器備品	金属製事務用品	5
		電算事務処理	99,705
		光学機器	286,357
退職給付引当預金		三井住友銀行 大阪本店営業部	4,250,788
		敷金	一般財団法人大阪科学技術センター
	保証金	ヤマト運輸株式会社	160,000
その他の固定資産合計			6,293,855
固定資産合計			10,762,764
資産合計			48,941,908
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金		行事関係	54,795
		会誌刊行費用	182,426
預り金		その他	28,730
		職員住民税他	71,275
前受会費		会員会費	1,492,670
未払法人税等			70,000
未払消費税等			582,500
その他前受金		学会誌、学術論文、行事収入	427,513
流動負債合計			2,909,909
<b>2. 固定負債</b>			
	退職給付引当金		4,250,788
固定負債合計			4,250,788
負債合計			7,160,697
正味財産			41,781,211

## 監査報告書

2022年5月9日

一般社団法人日本繊維機械学会  
会長 井上 真理 殿

監事

金井 宏典 

私は、2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算関係書類の監査結果


計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

## 監査報告書

2022年 5月 9日

一般社団法人日本繊維機械学会  
会長 井上 真理 殿

監事 嘉成年春 

私は、2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

## 監査報告書

2022年5月9日

一般社団法人日本繊維機械学会  
会長 井上 真理 殿

監事 金田 研 佐 千 子



私は、2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第3号議案 2022年度ならびに2023年度役員の内

理事	秋月 健司	東レ株式会社 テキスタイル・機能資材開発センター 所長
理事	井上 真理	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授
理事	奥林 里子	京都工芸繊維大学 繊維学系 教授
理事	小野 努	岡山大学 大学院自然科学研究科 教授
理事	金井 博幸	信州大学 学術研究院 繊維学系 教授
理事	亀井 孝典	株式会社島精機製作所 トータルデザインセンター 部長
理事	河原 喜久	帝人フロンティア株式会社 技術・生産本部 生産・品質管理部長
理事	倉敷 哲生	大阪大学 大学院工学研究科 教授
理事	近藤 幹也	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 顧問 名誉フェロー
理事	迫部 唯行	ユニチカ株式会社 岡崎事業所 所長代理
理事	杉山 浩正	株式会社豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 部長
理事	高納 伸宏	津田駒工業株式会社 代表取締役会長
理事	田上 秀一	福井大学 繊維・マテリアル研究センター 教授
理事	中西 康雅	三重大学 教育学部 教授
理事	<u>西村 正樹</u>	地方独立行政法人大阪産業技術研究所 高分子機能材料研究部 主任研究員
理事	西脇 剛史	株式会社アシックス 常務執行役員
理事	堀場 洋輔	信州大学 繊維学部 先進繊維・感性工学科 准教授
理事	正井 哲司	村田機械株式会社 取締役 繊維機械事業部長
理事	松尾 憲久	マツオインターナショナル株式会社 代表取締役社長
理事	三木 勝策	TMT マシナリー株式会社 取締役会長
理事	<u>宮島 光生</u>	東洋紡株式会社 生活・環境生産技術部 マネジャー
理事	<u>向井 康人</u>	名古屋大学 大学院工学研究科 准教授
理事	保田 和則	愛媛大学大学院 理工学研究科 教授
理事	<u>山内 一平</u>	倉敷紡績株式会社 繊維事業部 技術部 部長
理事	山本 貴則	地方独立行政法人大阪産業技術研究所 製品信頼性研究部長
監事	金井 宏彰	金井重要工業株式会社 代表取締役社長
監事	喜成 年泰	金沢大学 設計製造技術研究所 教授
監事	鋤柄佐千子	京都工芸繊維大学 繊維学系 教授

※下線は、新任理事

**報告事項（１）２０２２年度事業計画**  
(2022年4月1日～2023年3月31日まで)

**1. 総会**

期日	名称	内容
6/3	第75回定時総会	第1号議案 2021年度事業報告の件 第2号議案 2021年度決算報告の件 第3号議案 2022年度ならびに2023年度役員の件 報告事項（１）2022年度事業計画 報告事項（２）2022年度予算 報告事項（３）繊維系三学会の合併（一法人化）について

**2. 研究発表会**

期日	名称	会場
6/2,3	第75回年次大会	オンラインと大阪科学技術センター

**3. セミナー、シンポジウム、講演会、テキスタイルカレッジなど**

**3. 1 秋季セミナー**

期日	名称	会場
11/1, 2	第29回秋季セミナー	オンラインと大阪科学技術センター

**3. 2 繊維工学研究討論会 (Textile Research Symposium) (国際シンポジウム)**

期日	名称	会場
10/8 ～ 10/10	第49回繊維工学研究討論会 The 49 <sup>th</sup> Textile Research Symposium	京都工芸繊維大学

**3. 3 講演会**

期日	名称	会場
未定	2～3回程度開催予定	オンラインと大阪科学技術センター



### 3. 4 テキスタイルカレッジ

分類	開講日	講座名	
入門	6/30-7/1	1.「2日で学ぶせんいと布づくり」(2日間)	
専門講座	糸	8/2	1.「天然繊維の糸づくり」(1日)
		7/22	2.「化学繊維の糸づくり」(1日)
		12月予定	3.「合成繊維(実用)」(1日)
	布	9月予定	1.「組物」(0.5日)
		9月予定	2.「織物」(1日)
		9月予定	3.「編物」(1日)
		9/14	4.「不織布」(1日)
		10月予定	5.「染色加工(基礎)」(1日)
		11月予定	6.「染色加工(実務と応用)」(2日間)
	製品	11月予定	1.「アパレル製品設計の基本」(1日)
		11月予定	2.「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日)
		12月予定	3.「布特性の測定と感性の客観評価」(0.5日)
		2023年1月予定	4.「資材用繊維製品」(1日)
		2023年3月予定	5.「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)

#### 4. 会議の開催

以下の委員会、会議、WGなどを開催予定

理事会、執行部会議、企画委員会、学会誌編集委員会、ジャーナル編集委員会、情報化委員会、SDGs委員会、学会賞準備委員会、論文賞選考委員会、技術賞選考委員会、学術賞選考委員会、学術研究奨励賞選考委員会、学術奨励賞審査委員会、フェロー選考委員会、年次大会実行委員会、支部長会議、染色加工研究委員会、フェロー会、繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）、国際交流委員会、テキスタイルカレッジWG、TRS49実行委員会、学生会運営委員会、繊維系三学会統合検討会議など

#### 5. 支部の活動

以下の支部が活動予定

支部	支部長
関東支部	河原 豊（群馬大学）
信越支部	木村 裕和（信州大学）
東海支部	水森 吉紀（東亜紡織株式会社）
北陸支部	田上 秀一（福井大学）
中国支部	筒井由紀子（福山市立女子短期大学名誉教授）

#### 6. 研究会の活動

以下の研究会が活動予定

研究会	委員長
不織布研究会	矢井田 修（日本不織布協会）
繊維リサイクル技術研究会	木村 照夫（京都工芸繊維大学名誉教授）
テクテキスタイル研究会	田上 秀一（福井大学）
企業心理と消費者心理研究会	辻 幸恵（神戸学院大学）
ナノファイバー研究会	山下 義裕（福井大学）
コンポジテックス研究会	中村 崇人（藤倉コンポジット株式会社）
バーチャルテキスタイル研究会	横山 敦士（京都工芸繊維大学）
繊維機械研究会	喜成 年泰（金沢大学）
衣 coromo@未来研究会	中村 信（ダイキン工業株式会社）
テキスタイル技術教育研究会	中西 康雅（三重大学）
スマートテキスタイル研究会（※）	桑原 教彰（京都工芸繊維大学）

※3学会（日本繊維機械学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会）にて共同運営

## 7. 会誌および図書の刊行

繊維機械学会誌「月刊せんい」、論文誌「Journal of Textile Engineering」（隔月刊）を刊行予定

### 7. 1 繊維機械学会誌「月刊せんい」

発行年月日	巻	号
2022年4月25日	75	4
2022年5月25日	75	5
2022年6月25日	75	6
2022年7月25日	75	7
2022年8月25日	75	8
2022年9月25日	75	9
2022年10月25日	75	10
2022年11月25日	75	11
2022年12月25日	75	12
2023年1月25日	76	1
2023年2月25日	76	2
2023年3月25日	76	3

### 7. 2 論文誌「Journal of Textile Engineering」

発行年月日	Vol	No
2022年4月15日	68	2
2022年6月15日	68	3
2022年8月15日	68	4
2022年10月15日	68	5
2022年12月15日	68	6
2023年2月15日	69	1

報告事項(2)2022年度予算

2022年4月1日～2023年3月31日まで

(単位:円)

	本 部	支 部	収 益 事 業	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部					
1.事業活動収入					
1)基本財産運用収入	2	0	0		2
2)会費収入	15,725,000	0	0		15,725,000
(1)正会員会費収入	4,500,000	0	0		4,500,000
(2)学生会員会費収入	90,000	0	0		90,000
(3)賛助会員会費収入	6,935,000	0	0		6,935,000
(4)維持会員会費収入	4,200,000	0	0		4,200,000
3)事業収入	28,050,000	10,000	100,000		28,160,000
(1)学会誌収入	8,100,000	0	0		8,100,000
(2)論文誌収入	950,000	0	0		950,000
(3)各種行事収入	14,000,000	10,000	0		14,010,000
(4)年次大会収入	5,000,000	0	0		5,000,000
(5)図書売上収入	0	0	100,000		100,000
(6)寄付金収入	0	0	0		0
4)雑収入	10,100	6	0		10,106
(1)受取利息	100	6	0		106
(2)その他雑収入	10,000	0	0		10,000
5)他会計からの繰入額	0	100,000	0	△ 100,000	0
(1)収益事業会計	0	0	0	0	0
(2)支部会計	0	100,000	0	△ 100,000	0
事業活動収入計	43,785,102	110,006	100,000	△ 100,000	43,895,108
2. 事業活動支出					
1)事業費	17,490,500	891,910	78,000		18,460,410
(1)会誌刊行費	4,700,000	0	0		4,700,000
(2)論文誌刊行費	1,850,000	0	0		1,850,000
(3)各種行事費	6,000,000	891,910	0		6,891,910
(4)フェロー会行事費	100,000	0	0		100,000
(5)年次大会費	2,000,000	0	0		2,000,000
(6)学会賞費	500,000	0	0		500,000
(7)支払手数料	50,000	0	0		50,000
(8)租税公課	1,110,000	0	75,000		1,185,000
(9)発送費	0	0	3,000		3,000
(10)雑費	3,000	0	0		3,000
(11)70周年事業費	1,040,000	0	0		1,040,000
(12)委託費	137,500	0	0		137,500
2)管理費	27,095,500	44,881	0		27,140,381
(1)給与手当	17,000,000	0	0		17,000,000
(2)福利厚生費	2,600,000	0	0		2,600,000
(3)会議費	500,000	0	0		500,000
(4)旅費交通費	5,000	0	0		5,000
(5)通信運搬費	700,000	12,000	0		712,000
(6)消耗什器備品費	850,000	0	0		850,000
(7)消耗品費	800,000	4,000	0		804,000
(8)印刷製本費	300,000	8,000	0		308,000
(9)賃借料	3,000,000	0	0		3,000,000
(10)租税公課	3,000	1,000	0		4,000
(11)支払手数料	1,000,000	0	0		1,000,000
(12)委託費	137,500	0	0		137,500
(13)雑費	200,000	19,881	0		219,881
3)雑支出	0	0	0		0
未収入金回収不能	0	0	0		0
4)他会計への繰出額	100,000	0	0	△ 100,000	0
(1)収益事業会計	0	0	0	0	0
(2)支部会計	100,000	0	0	△ 100,000	0
事業活動支出計	44,686,000	936,791	78,000	△ 100,000	45,600,791
事業活動収支差額	△ 900,898	△ 826,785	22,000		△ 1,705,683
II 事業活動以外の収支の部					
1.事業活動以外の収入					
①海外旅費積立金取崩収入	300,000	0	0		300,000
②70周年事業積立金取崩収入	1,040,000	0	0		1,040,000
③フェロー会事業積立金取崩収入	0	0	0		0
④ホームページ作成費積立金取崩収入	275,000	0	0		275,000
⑤オンライン環境整備費積立金取崩収入	1,071,015	0	0		1,071,015
事業活動以外の収入計	2,686,015	0	0		2,686,015
2.事業活動以外の支出					
1)特定資産取得支出					
①退職給付引当資産取得支出	1,500,000	0	0		1,500,000
②減価償却引当資産取得支出	300,000	0	0		300,000
③70周年事業積立金支出	0	0	0		0
④その他特定資産取得支出	0	0	0		0
事業活動以外の支出計	1,800,000	0	0		1,800,000
事業活動以外の収支差額	886,015	0	0		886,015
当 期 収 支 差 額	△ 14,883	△ 826,785	22,000		△ 819,668
前 期 繰 越 収 支 差 額	33,125,628	1,216,522	△ 74,400		34,267,750
( 内 訳 2020年度繰越収支差額 )	27,000,056	1,291,583	△ 99,900		28,191,739
( 内 訳 2021年度収支差額 )	6,125,572	△ 75,061	25,500		6,076,011
次 期 繰 越 収 支 差 額	33,110,745	389,737	△ 52,400		33,448,082

### 報告事項（3）繊維系三学会の合併（一法人化）について

2021年5月21日

一般社団法人 繊維学会 会員各位

一般社団法人 日本繊維機械学会 会員各位

一般社団法人 日本繊維製品消費科学会 会員各位

#### 繊維学会，日本繊維機械学会，日本繊維製品消費科学会の一法人化を視野に入れた議論開始について

日頃より，繊維学会，日本繊維機械学会，日本繊維製品消費科学会（繊維系三学会）の活動にご理解とご協力を賜り，誠にありがとうございます。

繊維系三学会では会長，副会長，事務局長をメンバーとする連絡会を定期的を開催し，それぞれの学会が抱える諸問題や現状認識について情報共有を図って参りました。2020年8月29日の連絡会において，（1）学会活動に参画する人材の確保と育成，（2）社会情勢の変化に左右されない財政基盤の確立，（3）グローバルな時代に対応する国際的活動の強化が，きわめて喫緊の課題となっていることが共通の認識となり，一歩進んだアクションとして，三学会ワーキング（WG）を結成し，連携して問題解決に挑む取り組みを始めることを決しました。

これを受けて慎重な議論を重ねた結果，諸問題を解決し，新しい時代に向けて末永く繊維系学会を維持・発展するためには，各学会の特徴ある伝統を守りながらも，繊維原料から消費に至る広範な領域にわたって三学会が築き上げてきた英知を結集し，今後のビジョン・ミッションを明瞭にした上で，統合・一法人化することを視野に入れた議論を始める必要があるとの判断に至りました。そして，各学会の理事会にて，その議論開始の可否について諮り，了承を得たところです。

繊維系三学会がそれぞれのよさを持ち寄って，新たな魅力ある学会を創生することが可能となった場合，統合され新たに生まれる学会では，広範な領域の研究者・技術者が集うことで，従来の枠組み（川上・川中・川下，産学官等）を超え，世界に向けた価値提案，社会的問題解決，及び他分野と連携した新学術分野の創成に向けて会員が国際的に活動する場として機能することや，次の時代を担う人材育成にも寄与することが可能となります。また，統合・一法人化の副次的な効果として，財政面，運営面での効率化が達成され，持続的に発展していくための基盤を確かなものとする可以考虑とします。今こそ，各学会の会員の皆様にとって，より魅力的な，新時代に相応しい学会へと変貌するチャンスではないでしょうか。

一法人化に向けての検討にあたり，解決すべき課題は多くありますが，生活必需品であるだけでなく，地球環境を支える様々な関連技術の中核を担う存在でもある「繊維」の学問を追求する，繊維系学会のあるべき姿・活動目標を明確にして，国際的にも高いポジションを維持しつつ，魅力ある新たな価値の創出と発信を実現し，学理の面から社会をリードする学術団体の構築を検討していく所存です。

会員各位におかれましては，繊維系三学会が抱える諸課題を踏まえ，三学会の一法人化を視野に入れた議論を始めることに関し，ぜひともご理解を賜りますよう，お願い申し上げます。

一般社団法人 繊維学会

会長 荻野 賢司

一般社団法人 日本繊維機械学会

会長 井上 真理

一般社団法人 日本繊維製品消費科学会

会長 牛田 智

2021年9月29日

一般社団法人 繊維学会 会員各位  
一般社団法人 日本繊維機械学会 会員各位  
一般社団法人 日本繊維製品消費科学会 会員各位

## 繊維学会、日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会の一法人化に向けた検討の進展について

日頃より、繊維学会、日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会（繊維系三学会）の活動へのご理解とご協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

2021年5月21日に、三学会のwebサイトに「繊維学会、日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会の一法人化を視野に入れた議論開始について」の文書を掲載してお知らせするとともに、総会・学会誌でもお伝えしましたように、繊維系三学会では、会長・副会長・事務局長による会議で、一法人化に向けた議論を進めてきた結果、三学会（三法人）が合併、一法人化して新たな学会を創生することには大きな価値があるとの結論に至りました。

人類の生存に不可欠な衣食住、地球環境を支える繊維及び関連した学問領域の研究者・技術者には、時代や環境の変化に対応していくために新たな価値、イノベーションを持続的に創出していく責務があります。我が国の繊維業界を学理の面からリードし、国際的にも高いポジションを占める学術団体を構築していくことが、世紀を跨ぐマクロな視点に立った本会議の議論の総意であり、その方法論として繊維系三学会が培ってきた英知を結集し未来に向かっていくことが、最良の選択であると考えます。従来の枠組みを超え多様性を獲得した新学会は、世界に向けた価値提案、社会的問題解決、及び他分野と連携した新学術分野の創成に向けて会員が国際的に活動する場として機能し、その存在価値を明確に発信することで人々を惹きつけ、次の時代を担う人材を持続的に育成することが可能と信じます。

各学会の会員の皆様にとっても魅力的な、新時代に相応しい学会になるべく、合併後の新学会について具体的な検討に入るべきとの考えから、2021年6月21日に開催された、第6回繊維系三学会統合検討会議（元三学会ワーキング、メンバー：三学会の会長・副会長・事務局長）において、個別の事項について検討する以下のワーキンググループ（WG）を設置しました。

（1）学会誌検討WG （2）論文誌検討WG （3）年次大会検討WG （4）催事・研究(委員)会検討WG （5）国際化WG （6）事務局検討WG

現在、各学会から選出された6～8名のメンバーにより、それぞれのWGで様々な検討がなされているところです。各学会には、それぞれの特徴があり、一法人化に向けての課題は難題ばかりですが、それぞれの学会の事情や立場に縛られるのではなく、時代が激しく変化している中、今後、「繊維」を冠する学会がどうあるべきか、新しい学会はどのような姿であるべきか、といった観点からの議論がなされています。

まだ統合後の新学会の具体的な姿をお示しできる段階ではありませんが、会員各位におかれましても、繊維系三学会の一法人化の議論を進めることに関して、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。また、ご意見等ございましたら、理事・事務局を通じて、お寄せいただければ幸いです。

一般社団法人 繊維学会	会長 荻野 賢司
一般社団法人 日本繊維機械学会	会長 井上 真理
一般社団法人 日本繊維製品消費科学会	会長 牛田 智

2022年3月

繊維学会、日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会の会員の皆様

繊維学会会長 荻野賢司  
日本繊維機械学会会長 井上真理  
日本繊維製品消費科学会会長 牛田 智

### 繊維系三学会の合併（一法人化）に向けての検討の進展状況のご報告

繊維学会、日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会では、2020年8月以降の、会長、副会長、事務局長による何度かの話し合いで、新しい時代に向けて末永く繊維系学会を維持・発展するためには、各学会の特徴ある伝統を守りながら、三学会が築き上げてきた英知を結集し、合併・一法人化して新たな学会を創生することが必要であり、また、大きな価値創造につながるとの結論に至りました。

その後も、「繊維系三学会統合検討会議」を毎月開催するとともに、個別の事項については、次のワーキンググループ（WG）を設置して検討を続けてまいりました。

- (1)学会誌検討 WG    (2)論文誌検討 WG    (3)年次大会検討 WG  
(4)催事・研究(委員)会検討 WG    (5)国際化 WG    (6)事務局検討 WG

このことは、2021年5月21日および9月29日に三学会のwebサイト、また学会誌（第7号、第10号）に掲載してお知らせしてきたとおりです。

三学会が合併することにより研究発表や交流の場が大きくひろがり、繊維関連の生産から消費に至る広範な領域の関係者が結集できます。また、他分野との幅広い連携も主体的に進めることができます。このことで、繊維に関連するあらゆることを学理の面からリードし、繊維関連研究の推進と効率的な情報発信や産学官協働による新たな価値の創造と繊維業界の活性化を図り、国際的にも高いポジションを占める学術団体を構築します。三学会のこれまでの活動をあまねく継承し、発展的に拡大した新たな学会を誕生させることで、次代を担う人材の育成にも貢献できます。

上記WGなどでの検討の結果、下記のような方針のもと、三学会の合併を進めていきたいと考えておりますので、会員の皆様にお伝えするとともに、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。なお、ご意見・ご質問がございましたら、所属学会の事務局までお寄せいただければ幸いです。

#### 記

##### 【法人の合併について】

- ◆法人法に基づき、三学会（三法人）の合併を、三学会間で合併契約を締結して実現する。
- ◆法律に基づく合併の手続きは、各学会において、理事会の議を経て総会で承認することにより進めることになる。
- ◆2023年4月1日付での合併を目指す。

##### 【学会名】

- ◆新学会の学会名は、繊維系の三学会が合併し、日本の繊維分野を主導することから、「日本繊維学会（The Society of Fiber Science and Technology, Japan）」とする。

### 【新学会の体制】

- ◆新学会の役員（理事・監事）は、これまで主に活動してきた学会に関してのバランスを勘案して選任する。
- ◆三学会それぞれにある組織（委員会・支部など）は、できるだけ統合するとともに、三学会からの豊富な人材に貢献いただき、これまで各学会が運営してきた事業が継続できるよう努める。

### 【論文誌】

- ◆IF（インパクトファクター）維持の観点から、繊維学会のJFST（Journal of Fiber Science and Technology）をほぼそのまま残し、近い将来に英文専用論文誌にする。
- ◆多様な投稿機会を提供するために、和文中心の2誌目の論文誌を刊行し、これを、日本繊維機械学会・日本繊維製品消費科学会の論文誌の後継誌として位置づける。
- ◆2誌とも、投稿分野は同じとし、これまでの三学会の論文誌の分野とする。

### 【学会誌】

- ◆現行は、三学会がそれぞれ年12冊の冊子を発行しているが、1誌に統一し、毎月発行する。
- ◆これまで三学会が掲載してきた分野のバランスを考慮し、多くの読者の興味をカバーした構成とする。
- ◆当面は、冊子体での発行とする。

### 【研究発表会】

- ◆6月頃に年次大会（東京を予定）、秋に秋季研究発表会（関西を予定）を行う。
- ◆発表募集の内容や発表セッションは、これまで三学会が扱ってきた分野をほぼ継続し、従来通りの研究発表ができるようにする。

### 【催事】

- ◆三学会の企画を担当してきたそれぞれの委員会は、「企画委員会」として一本化する。
- ◆企画委員会の中に、講演会の企画を担当する講演分科会と、基礎的な講座の企画を担当するテキスタイルカレッジ分科会を設置し、これまで三学会が行ってきたものを統合して実施する。
- ◆夏季セミナーを支部（関東支部・関西支部も含む）持ち回りで開催する。

### 【研究会・研究委員会】

- ◆三学会にある研究会や研究委員会は、当面は現状のまま継続する。

### 【国際化】

- ◆今後の国際化を推進すべく、新たな組織を確立し、国際会議、国際連携の推進を行うとともに、国際シンポジウムも計画する。

### 【事務局】

- ◆事務局は、当面は東京と大阪の2事務局体制とする。

以上